

事務事業名		農業委員活動事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業						
政策体系	政策名	015 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目						
	施策名	210 産地化をめざした農林業の振興				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	011 農業経営の安定化					01	06	01	01	00	
根拠法令		農業委員会等に関する法律・農地法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入								
所属	部課名	農業委員会事務局										
	係名	庶務係	電話	27-3111								
			内線	357								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
公選農業委員15人、議会推薦農業委員3名、農協・共済組合推薦農業委員各1名の20名の農業委員が各担当地区を巡回し、農地や耕作状況を把握しながら、農業者を支援する事業である。 主な業務内容は ①優良農地の確保のための農地パトロール(総会審議の現地調査含む) ②関係機関との仲介による農業経営の支援 ③家族経営協定・年金・関係機関の仲介や情報提供 その他、3年に一度、先進地視察研修を受ける。  主な支出は、月毎の農業委員報酬である。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金				
							財源内訳	都道府県支出金				
						人件費	地方債					
							その他					
						事業費計(A)	一般財源					
							正規職員従事人数				0	
						延べ業務時間	延べ業務時間					
							人件費計(B)				0	
						トータルコスト(A)+(B)					0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・農地の現地調査・パトロール・視察研修(任期1回) ・地区集会に出席し、農業者に個別指導等を行った。 ・農業委員としてのボランティア作業・家族経営協定等を締結した。		ア	農地現地調査・パトロール・指導
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	地区集会出席・個別指導数
前年度に同じ。(視察研修はない)		ウ	ボランティア作業・家族経営協定活動数
・ボランティア作業は椿の植栽を行う			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農業者・農地所有者		名称	
		単位	
		カ	農業者数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
農地法を遵守させ、農地を保全するとともに、併せて農業経営に役立つ情報を提供することにより農業者の農業経営を安定させる。		名称	
		単位	
		サ	農業者からの相談件数
		シ	農業者への指導件数
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	2,022	1,900	1,900	1,900	1,900
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,476	5,840	5,840	5,840	5,840
	事業費計(A)		千円	7,498	7,740	7,740	7,740	7,740
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	1,500	900	1,000	1,000	1,000
		人件費計(B)	千円	6,000	3,600	4,000	4,000	4,000
		トータルコスト(A)+(B)		千円	13,498	11,340	11,740	11,740
⑤活動指標	ア	件	99	158	160	160	180	
	イ	件	230	218	250	250	250	
	ウ	件	1	5	50	60	60	
⑥対象指標	カ	世帯	1472	1412	1400	1350	1300	
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	件	18	21	26	31	40	
	シ	件	80	144	150	160	160	
	ス							

事務事業ID	0743	事務事業名	農業委員活動事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和26年に農業委員会等に関する法律が制定されたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年11月に大船渡市と旧三陸町が合併したことにより、平成17年7月の改選期から農業委員定数が減少した。</li> <li>委員に対しては男女共同参画の立場から、女性農業委員の登用が求められている。</li> <li>平成21年法改正による農地パトロールや東日本大震災後の転用件数が4倍に増加するなど、農業委員の活動量が大幅に増えた。</li> <li>農業環境は、高齢化や後継者不在による、農業の担い手不足が大きな問題となっており、農地被災後農業世帯が減少した。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地の耕地に占める割合が県内でも高いため、その解消が求められている。</li> <li>女性委員は議会推薦を求めた折、議会から「議会推薦によるものだけでなく、公選によるものも進めてほしい」との声が寄せられた。</li> </ul>

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 農産物の生産資源である農地の有効利用を推進する農業委員会活動事業は、農林業の振興という施策に結びつき、国の推進する食料自給力向上の観点からも重要性が高まっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 農業委員会等に関する法律及び農地法に則った事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 市内全域の農地と新規就農者を含む農業者を対象に活動している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 活発に活動が行われているが、当初の計画どおりボランティア活動の一部が計画どおり、実施できないものもあった。早めに着手し、問題を整理することでより実現性が高くなる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 地域農業の現状や農業者の声が市の農業施策に反映される機会がなくなり、地域の現状に合わせた農業施策が行われなくなるおそれがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 農業委員会等に関する法律及び農地法に基づく業務であり、他に類似事業・類似団体はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 主な支出である農業委員の月額報酬については、「大船渡市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例」に定められており、適正な金額である。よって、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 平成21年6月に農地法等関連4法が改正されたことにより、業務量が増えることになったこと、被災関連の業務が増えている中、職員数の増員はなく、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市内の農業者全体を対象とする業務であるので、受益機会・費用負担は公平・公正である。

事務事業ID	0743	事務事業名	農業委員活動事業
--------	------	-------	----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>・議会推薦の女性農業委員2名が誕生し、活動は全般に活発に推進されたが、活動目標が1部が達成できなかった(柿加工講習)</p> <p>①被災後4倍増となった転用時の現地調査・農地パトロールを実施し、農業者への指導を行った。</p> <p>②視察研修・マスタープラン等に積極的に参加した。</p> <p>③農業委員活動として山口県美祢市農業委員会視察団とともに被災柿園の下刈ボランティア活動を行った、</p> <p>④家族経営協定をこれまでの年最高件数4件締結した。</p>																						
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
(上記方向性に対する具体的な内容) ・被災後活発になった農業委員活動を維持していく。 ・現況調査については、被災後農地転用件数が3～4倍に増えていることから、農地法を遵守させる指導を速やかに行うために農地法の研修を行う。 ・農業委員ボランティア作業として25年度以降の目標としている「遊休農地解消のための椿の植栽」を実現させる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								
・総会後研修会を開催しているが、総会が長いと、集中力が保てるよう工夫が必要である。 ・ボランティア作業は早めに着手し、会議等が集中する10月以前に行うようにする。																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長
-------	-----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 評価結果の根拠と理由																						
<p>・議会に要請した成果として、女性農業委員が2名誕生したことで刺激となり活発な農業委員活動がなされている。</p> <p>・山口県美祢市の視察訪問を利用して、被災地ボランティア活動を行ったが、24年度の目標柿加工については実現できなかった。</p>																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )																						
(上記方向性に対する具体的な内容) 農地転用時の現況調査・農地パトロールを行うこと、地域集いに積極的に参加する事、個々の相談に応じる事で、常に担当地区の農地の現状把握に努め、健全な農業経営を支援する。 25年度以降の農業委員ボランティア活動の目標である、「遊休農地解消に向けた椿の植栽」を継続できるよう年度初めに着手する。(梅雨前が最適時期)																						
(5) 改革・改善による期待成果																						
左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------